

# 「河川堤防災害調査員」登録のお誘い



## 地域の重要防災インフラである河川堤防のデータを集めましょう

- 集めた情報は、データベースに蓄積し、堤防の安全性の研究に貢献する大変貴重なものとなります。
- 事前登録をお願いします。地域のインフラを皆で守る活動に是非ご参加ください。

### ■ 活動概要：

- 洪水発生時に在住地域の堤防を調査，データ収集
- 被害地点だけでなく，無被害地点の情報も貴重です
- 堤防沿いを歩き，変状の有無をスマホからLINEを使って入力します

■ 対象：地盤工学会の正会員，特別会員所属の皆様 ※堤防の専門ではなくても良い

■ 調査結果は積極的に社会に発信，調査参加者の氏名は学会HPで毎年公表します

皆様，まずは是非ご登録ください 1分で済みます

JGSのホームページ (<https://www.jiban.or.jp/?p=14413>)

またはQRコードから

担当：JGS「災害調査データの収集と活用委員会」

ご質問は [saigai-kasen@jiban.or.jp](mailto:saigai-kasen@jiban.or.jp) まで



# 参加登録の流れ

## 1. JGSのホームページ

(<https://www.jiban.or.jp/?p=14413>) またはQRコードから申込み

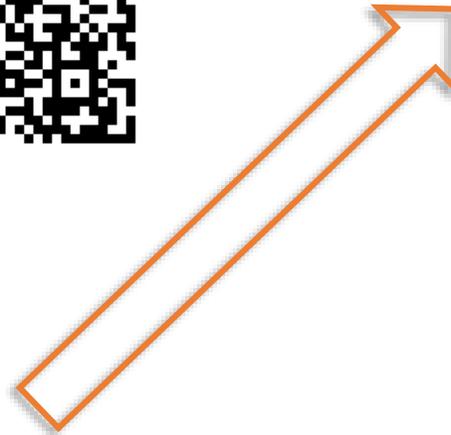
河川堤防災害調査団申込

必要事項をご記入の上、確認ボタンをクリックしてください。

河川堤防災害調査団申込	
氏名	姓 <input type="text"/> 名 <input type="text"/>
フリガナ	姓 <input type="text"/> 名 <input type="text"/>
メールアドレス	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>
月曜日	<input type="text"/>

確認

すでに登録完了メールが届きます。  
万が一、3分以内にメールが届かない場合は、  
迷惑メールフォルダに振り分けられているか  
確認する必要がありますので変更お手続きですが、ご確認をお願いします。



## 2. JGSからメール

### (1) ユーザ登録

<https://rain.diasjp.net/jiban/> にアクセスし、DIASシステムに登録してください。

(2) LINE・DIASから登録のEメールアドレス宛に、調査時に使用する水系別QRコード一覧のURLが送られますので保存してください。

(3) [https://jiban.or.jp/file/saigai/kasenchosa/guidelines\\_v01.zip](https://jiban.or.jp/file/saigai/kasenchosa/guidelines_v01.zip) から調査ガイドライン、参考資料、詳細調査報告様式（エクセルシート）をダウンロード。よく読んで災害調査に備えてください。

## 3. DIASにユーザ登録

• <https://rain.diasjp.net/jiban/> にアクセス

DIAS

地盤工学会「スマホを使って災害調査（河川堤防）」ユーザ登録

全ての項目に記入下さい。

姓  名

所属

メールアドレス

メールアドレス(再入力)

登録

## 4. DIASからメール

メールにあるURLにアクセスし、水系別QRコードを取得し、PCに保存しておく

[https://rain.diasjp.net/jiban/\\*\\*\\*\\*](https://rain.diasjp.net/jiban/****)

以上です！

あとは資料を読み、発災時の調査に備えてください。

# 洪水発生から調査までの動き(調査員)

〔 事前準備：事前登録，JGSとDIASの2カ所に登録。ガイドラインをDLし，予習しておく。 〕

## 洪水発生

### 氾濫危険水位に到達→水系の堤防調査実施

調査準備：当該水系のQRコードをLINEで読み込み，河川の水位情報・被害情報を収集，調査計画を立てる  
「川の防災情報」「気象庁キキクル」や国交省各地整のHPなどが参考になる

調査実施：水位低下し安全確保できるようになった後，現地へ

## 河川堤防緊急調査実施(発災～2週間程度)

調査実施：調査ガイドラインに従い，安全には十分注意して調査実施

LINEからオンサイトからリアルタイムで報告(LINEで報告した時点で調査参加と認識される)

- ・ 無被害地点もこまめに(およそ100m間隔)報告
- ・ 変状を発見したら，写真(状況がわかるよう数枚以上)やコメントも入力
- ・ LINE-DIASで他調査員の調査状況も参考にしながら。他の調査員と同一地点の報告が重複しても構わない

## 詳細調査(発災～1カ月程度)

被災箇所は詳細調査を実施(緊急堤防調査と並行して実施する場合もあり得る)

- ・ 前日までの詳細調査をDIASで確認(重複を避けるため)
- ・ 調査結果はエクセルシートに記入
- ・ 写真と共に1つのzipファイルにまとめてDIASへアップ(なるべくその日のうちに)(削除も可)
- ・ ファイル名：場所-調査者名-調査月日.zip (例：R12.4k-地盤太郎-20210709.zip)



©生駒先生，川尻先生

# DIASへの蓄積

表示期間  
2021/08/16 00 : 00  
|  
2021/09/14 23 : 59  
表示期間変更  
全期間

一覧表示モードへ

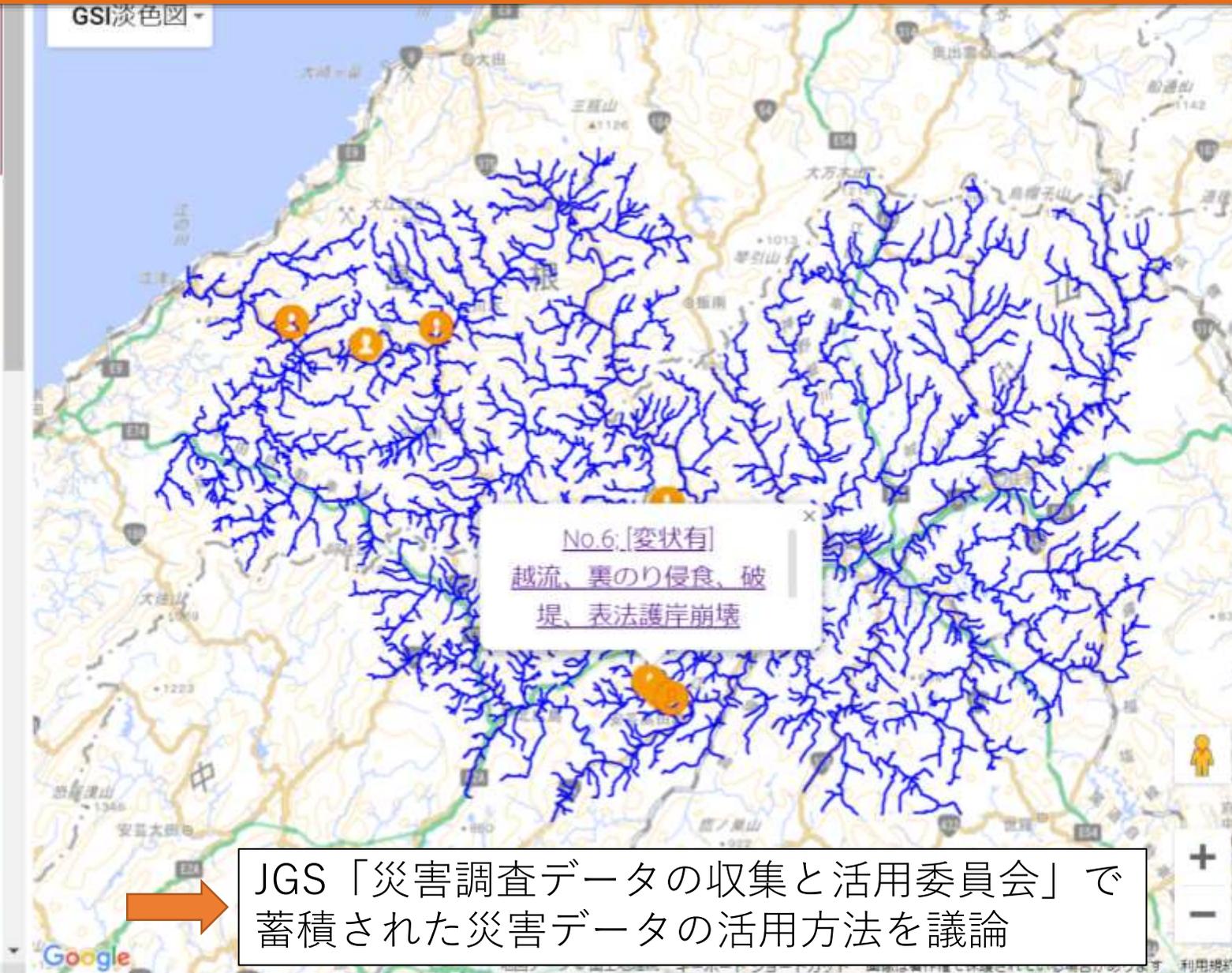
堤防被災状況  
(2021/08/16 00:00-  
2021/09/14 23:59)  
全表示 全非表示

変状無 (登録なし)		表示 非表示
変状有 (9)		表示 非表示
管理者被災情報 (3)		表示 非表示
その他 (登録なし)		表示 非表示

My 登録データ一覧

治水地形分類図  
(凡例をクリックすると別画面で表示)  
OFF

ハザードマップ  
全マップOFF



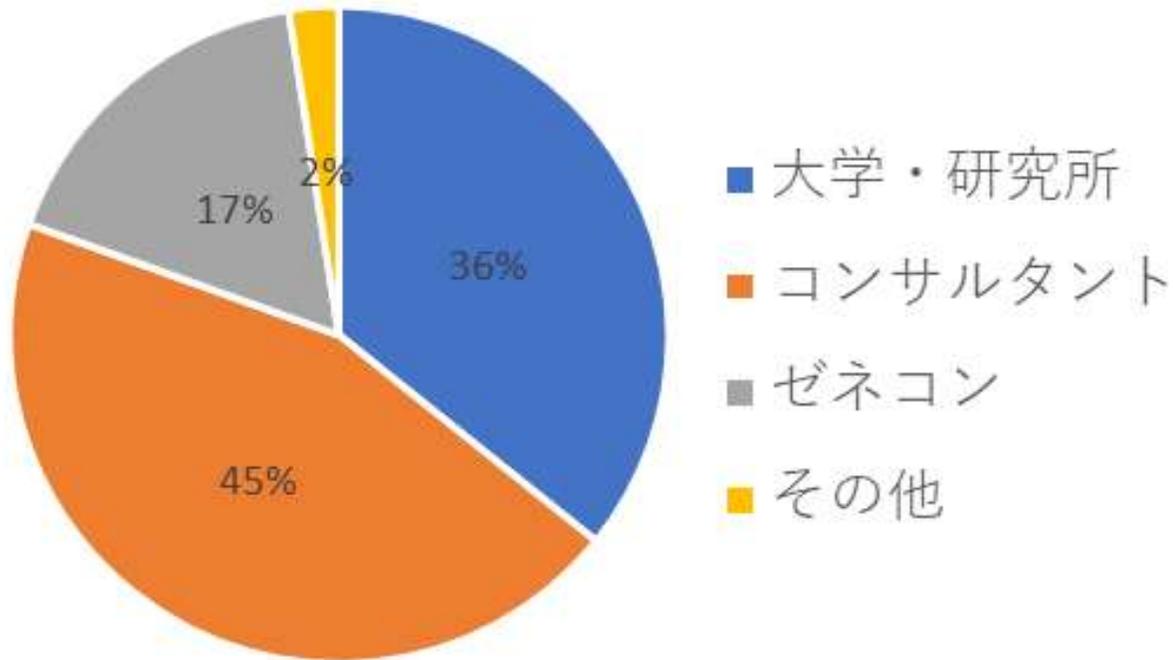
JGS「災害調査データの収集と活用委員会」で蓄積された災害データの活用方法を議論



2021/08/24 20:05:07 入力	被災状況	変状有
2021/08/24 20:05:55 アップロード	画像	
2021/08/24 20:06:28 アップロード	画像	
2021/08/24 20:06:28 アップロード	画像	
2021/08/24 20:08:06 入力	コメント	越流、裏のり侵食、破堤、表法護岸崩壊

# 2021年9月1日現在の調査員登録者・災害データ登録数

「河川堤防災害調査員」登録者数 123名



災害データ登録数 57件





# ご協力をお願いします

JGS「災害調査データの収集と活用委員会」委員長：岡村未対（愛媛大）  
ご質問は [saigai-kasen@jiban.or.jp](mailto:saigai-kasen@jiban.or.jp) まで